

### 【充電とペアリング設定】



#### ●充電

充電器の電源コードを接続したら送受信機（親機）や受信機（子機）をトレイに差し込みます。充電が開始されます。

#### ●ペアリング（グループ設定）

赤いトレイには赤いクリップを装着した送受信機（親機）を、その他のトレイには受信機（子機）を差し込みます。その後に充電器の左のボタンを押せば『ピッ』と音が鳴りペアリングが完了し、グループとなりお互いの通信が可能となります。

※充電器の右のボタンは押すとグループ名や電池残量などのステータスを確認することができます。

### 【基本操作】



#### ●電源のON/OFF

電源ボタンを長押ししてON/OFFします。

※電源をONにした後に少しすると液晶画面が消えますがONになったままです。液晶画面を再度表示するにはマイクボタンもしくは電源ボタンを短く押す必要があります。



#### ●ボリュームのUP/DOWN

側面にある上下のボタンで音量ボリュームの調整を行います。※5～100%まで5刻みで相手から聞こえる声の大きさを変更できます。



#### ●マイクのON/OFF

前面の大きいボタンを押すとマイクのON/OFFが切り替わります。

※送受信機（親機）のみの操作となります。

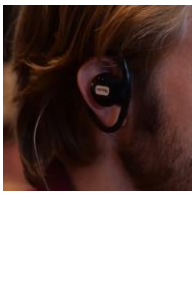
受信機はマイクボタンがありません。

### 【ヘッドセット/イヤホンの接続と装着】



#### ●ヘッドセット

送受信機（親機）にヘッドセットを接続します。片耳型のためイヤパッド部分を左右どちらかの耳に当て、イヤパッドが無い部分は反対側の頭の側面に当て支えます。マイク部分は可動式になっており口元に近づけて使用します。



#### ●イヤホン

受信機（子機）にイヤホン接続します。イヤホンは片耳型のため、左右どちらかの耳に掛けて使用します。聞くだけで話すことはできません。

### 【ディスプレイ表示】



#### ●グループ名、電池残量

ディスプレイ真ん中にはグループ名が表示されます。同じグループは相互通信が可能です。左上の電池アイコンでは電池残量を示します。



●マイクON  
マイクがONのときの表示です。



●マイクOFF  
マイクがOFFのときの表示です。

## 【よくある質問】

- バッテリーは何時間もちますか？  
→送受信機（親機）は約7時間、受信機（子機）は約12時間になります。  
充電器での充電に要する時間は約4時間です。
- どのくらいまで電波は飛びますか？  
→屋内では100m、屋外では200m程度の範囲になります。  
※カタログスペックの最大値です。ご使用頂く現場状況により左右されます。
- 何人まで同時に話せますか？  
→同時に話すことができるのは3人までです。聞くことは台数制限はありません。
- 1つのグループには何人まで参加できますか？  
→スペック上、制限は特にありません。  
しかし台数が20台以上など多くなる場合は現場確認をおすすめします。
- グループは何グループまで作成できますか？  
→20グループまで作成できます。

## 【困ったときは？】

- 電源が入りません。  
充電はされていますか？  
電源ボタンを長押しされていますか？
- ペアリングをしても通信ができない。  
充電器に送受信機（親機）や受信機（子機）が正しく真っ直ぐに接続されていますか？  
ペアリングボタンを押した後に『ピッ』という音は鳴りましたか？  
同じグループ名になっていますか？
- 音が聞こえません。  
ペアリングはされていますか？  
送受信機（親機）や受信機（子機）のボリュームは上がっていますか？  
ヘッドセットやイヤホンは正しく接続されていますか？  
送受信機（親機）がマイクをONにしていますか？
- 雑音が出ます。  
ヘッドセットやイヤホンは確実に接続されていますか？  
ヘッドセットや内蔵マイクを手で触っていませんか？  
純正のヘッドセットやイヤホンを使用されていますか？
- 故障の疑いがある。  
その他問い合わせや故障の疑いがあれば担当者までご連絡を頂けますでしょうか。  
松田通商(株)大阪営業所 南方まで Tel 06-6101-2822 メール tadayoshi.minakata@mtc-japan.com

## 【その他の便利な使い方】



右ソフトボタン



サブリーダーになる



内蔵マイク



●充電器なしでのペアリング  
送受信機（親機）の右ソフトボタンを押した後に送受信機（親機）と受信機（子機）の背面を合わせると『ピッ』と音が鳴りペアリングが完了します。  
充電器が近くないときや、急なグループの人数追加をしたいときに便利にお使い頂けます。

●サブリーダーを作成し話す人を複数にする。  
工場見学などでお客様を案内する人が複数になる場合や、スタッフ間でも会話をしたい場合にはサブリーダーを作成します。  
サブリーダーの作成は充電器の赤いトレイ以外にも送受信機（親機）を差し込みペアリングを行います。  
※サブリーダーのマイクのON/OFFはPush To Talk方式です。(押ししている間のみマイクONになります。)

●内蔵マイクを使う  
ヘッドセットを使用しない場合は、内蔵マイクで話すこともできます。  
マイクをONにして内蔵マイクに口を近づけて話すことで収録します。

●ネックストラップを使用する  
ネックストラップを使用することで送受信機（親機）や受信機（子機）を首からぶら下げることができます。

## 【使用する機器一覧】



送受信機（親機）  
LK-1  
付属品：  
赤クリップ  
ネックストラップ  
イヤホン



受信機（子機）  
LKR-11  
付属品：  
ネックストラップ  
イヤホン



ヘッドセット  
LA-452  
付属品：  
なし



イヤホン  
LK-1, LKR-11  
に付属  
延長コード有



充電器  
LA-480  
付属品：  
電源コード  
USBケーブル